

# 令和2年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

## ●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会 社会・青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	134,945,032円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的ホール、研修室(4)、音楽室、和室、クラフト室		

## ●利用状況

	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期
利用者数(単位:人) 団体数(単位:団体)	3,019 (63)	1,111 (85)	7,965 (209)	15,505 (498)	9,573 (264)
開所日数(単位:日)	139	156	143	158	145
団体利用可能日数(単位:日) ※1	132	103	114	157	145
団体利用実績日数(単位:日)	43	24	95	155	126
施設稼働状況(単位:%) ※2	32.6	23.3	83.3	98.7	86.9

※1 【開所日数】-【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則を遵守している。 ②指定管理者仕様書に基づき、適切な人員配置、管理を行っている。 ③ホームページ、パンフレット、チラシ等による広報活動のほか、SNSを通じた広報・情報発信を充実させた。出前講座・出張講座等を通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行っている。 ④迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業 自主事業	○受入事業を実施  ○下記主催事業を実施 ①家族対象事業 ②子ども対象事業 ③市民対象事業  ○下記自主事業を実施 ①「自然体験ミニイベント」 ②「三輪北文化のつどい」への事業協力(地元への事業協力)	○受入事業 ・63団体3,019人を受入れ  ○主催事業 ①2事業3回に31家族109人が参加 ②(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ③2事業2回に147人が参加  ○自主事業 ①1事業1回に34人が参加 ②(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

区分	確認事項	履行状況
指定事業 自主事業	<p>○研修・啓発事業を実施</p> <p>①「自然体験活動実技研修会」</p> <p>②「ボランティアスタッフ研修会」</p> <p>③出前講座の実施</p> <p>④自然情報の発信</p> <p>○研究・開発事業を実施</p>	<p>①1事業1回に8人が参加</p> <p>②1事業1回に28人が参加</p> <p>③出前講座・出張講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座:青少年会館等4回に51人が参加</li> <li>・出張講座:24校25回に1,790人が参加</li> </ul> <p>※野外学習が中止となった岐阜市立小学校5年生を対象</p> <p>④下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然の家だより」、「季節の散策マップ」の発行</li> <li>・岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」への投稿</li> <li>・SNS (Instagram・Facebook・YouTube) に配信</li> </ul> <p>○研究・開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座用の活動メニューの開発</li> <li>・各種職員研修の実施</li> <li>・周辺の動植物調査及びデータ収集</li> <li>・「自己課題」への取組み</li> </ul>
施設管理	<p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②寝具クリーニング</p> <p>③空気環境測定</p> <p>④水質検査</p> <p>⑤その他</p>	<p>①【日常】開所日は毎日実施 【定期】10月・11月・12月・1月・2月・3月に実施</p> <p>②2月に実施</p> <p>③11月・1月・3月に実施</p> <p>④2月に実施</p> <p>⑤職員による施設点検(整備)</p> <p>【館内外点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の退所時</li> <li>・休所日前、休所日後</li> </ul> <p>【キャンプ場】【散策道】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の入所前、荒天後</li> </ul> <p>【豚熱対策として消石灰の散布】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間:10月1日～3月31日 頻度:月に1度程度、雨天後</li> </ul> <p>【新型コロナウイルス感染症感染防止対策の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルに基づく館内の消毒作業</li> <li>・宿泊室の抗菌抗ウイルス塗装</li> </ul> <p>※その他、仕様に基づき適正に実施</p>
施設修繕	<p>①迅速な修繕の実施</p> <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施</p>	<p>①迅速な修繕の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「よねんばし」架け替え修繕</li> <li>・誘導灯10台取替修繕</li> <li>・営火場ファイヤーサークル修繕</li> <li>・トイレフラッシュバルブ5基取替修繕</li> </ul> <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散策道の整備</li> <li>・網戸破れ修繕</li> <li>・活動備品の点検、修繕</li> <li>・洗面所の蛇口ハンドルをレバー型に交換(新型コロナ対策)</li> </ul>
危機管理・ 法令遵守	<p>①個人情報の保護</p>	<p>①下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護体制について、窓口やホームページで公開している。</li> <li>・個人情報保護担当者を配置している。</li> <li>・「個人情報保護研修会」を実施している。</li> </ul>

区分	確認事項	履行状況
危機管理・法令遵守	②非常時の対応策	②下記の取組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新型コロナウイルス感染症感染防止マニュアル」を改定し、マニュアルに基づき運用している。</li> <li>・「土砂災害に関する避難等の対応について」を策定し、運用している。</li> <li>・各種安全マニュアルの見直し、改善を図り、適切に運用している。</li> <li>・ウォークラリー、オリエンテーリングのコース点検、巡回を適切に行っている。</li> <li>・消防訓練、防火設備等の管理を継続して適切に行っており、「表示マーク(金)」の交付を受けている。</li> <li>・暑さ指数計やミスト扇風機を活用し、熱中症対策を行っている。</li> </ul>
	③関係法令の遵守	③下記の取組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家条例施行規則等、関係法令を遵守している。</li> </ul>

### ●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受入事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用者アンケート」…すべての利用団体を対象に実施 質問内容:「利用全般」「職員の対応」など</li> <li>・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施</li> </ul> </li> <li>○主催事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「参加者アンケート」…すべての主催事業で実施 質問内容:事業の満足度、自然の家の3つの願いの達成度など</li> <li>・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施</li> </ul> </li> </ul>
利用者アンケートの実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受入事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合</li> <li>①回収枚数 34枚</li> <li>②各項目の満足度・主な意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>「利用全般」 (100.0%):大変満足76.5% 満足23.5% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>「施設・設備」 (97.1%):大変満足67.7% 満足29.4% 普通0.0% 不満2.9% 大変不満0.0%</li> <li>「職員の対応」 (97.1%):大変満足76.5% 満足20.6% 普通2.9% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>「食堂の食事」 (100.0%):大変満足50.0% 満足50.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> </ul> </li> <li>内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>【初回利用団体】 4枚 ※初回利用団体の食堂利用実績は無し</li> <li>「利用全般」 (100.0%):大変満足 75.0% 満足25.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>「施設・設備」 (100.0%):大変満足 50.0% 満足50.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>「職員の対応」 (100.0%):大変満足50.0% 満足50.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>「食堂の食事」 ( - %):大変満足 - % 満足 - % 普通 - % 不満 - % 大変不満 - %</li> <li>【複数回利用団体】 30枚</li> <li>「利用全般」 (100.0%):大変満足76.7% 満足23.3% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>「施設・設備」 (96.7%):大変満足70.0% 満足26.7% 普通0.0% 不満3.3% 大変不満0.0%</li> <li>「職員の対応」 (96.7%):大変満足80.0% 満足16.7% 普通3.3% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>「食堂の食事」 (100.0%):大変満足50.0% 満足50.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> </ul> </li> <li>《主な意見》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーリングでは、活動前にウルシなどの危険な植物についての説明をしていただき、子どもたちは注意深く活動に参加することができました。</li> <li>・初めてクラブ活動で野草のたたき染めを行いました、所員の方の的確なアドバイス、子どもの心により添ったコミュニケーションのおかげで、みんな最後まで作りきれました。</li> <li>・少人数にもかかわらず、大きいキャンプファイヤーを用意していただき、ありがとうございました。子どもに火が当たらないように、常に気を配ってもらえました。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○主催事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「参加者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合</li> <li>ファミリーDAY 秋のピクニック編 (対象:家族 日程:半日 10/10,10/11) ※10/10は雨天により中止</li> <li>①回収枚数 10枚</li> <li>②事業の満足度・主な意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>【初回参加】 8枚</li> <li>「満足度」(100.0%) 大変満足100.0% 満足0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> <li>【複数回参加】 2枚</li> <li>「満足度」(100.0%) 大変満足100.0% 満足0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</li> </ul> </li> <li>《主な意見》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策もしっかりしていて、安心して参加できました。</li> <li>・どんぐりやコオロギなど、植物や生き物で季節を感じる活動でした。</li> <li>・引込みタイプで人と話せない子が、スタッフの人たちと楽しそうに会話している様子がうれしかったです。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>ファミリーDAY ちょっと早い!? お正月準備編 (対象:家族 日程:半日 11/29,12/6)</p> <p>①回収枚数 20枚  ②事業の満足度・主な意見  【初回参加】 13枚  <b>「満足度」(100.0%) 大変満足100.0% 満足0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</b>  【複数回参加】 7枚  <b>「満足度」(100.0%) 大変満足71.4% 満足28.6% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</b></p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で大変なときですが、とても楽しく参加することができました。</li> <li>・子どもたちも含め、久しぶりにのびのびと過ごすことができうれしく思います。</li> <li>・お正月飾りがとてもステキになり、うれしかったです。</li> </ul> <p>地域貢献事業 遊湯わくわく三輪(対象:三輪地区住民 日程:半日 3/20)</p> <p>①回収枚数 25枚  ②事業の満足度・主な意見  【初回参加】 19枚  <b>「満足度」(94.8%) 大変満足73.7% 満足21.1% 普通5.2% 不満0.0% 大変不満0.0%</b>  【複数回参加】 6枚  <b>「満足度」(100.0%) 大変満足66.7% 満足33.3% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</b></p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年もあつたら、また来たいです。落語も面白く、お風呂も貸し切りで最高でした。</li> <li>・天気も良く、ゆっくり楽しめました。バードウォッチングなど、自然の家らしいコーナーもあり良かったです。</li> <li>・初めて自然の家に来ましたが、案内していただけて助かりました。素晴らしい展示作品ばかりでした。</li> </ul> <p>ファミリーフェア (対象:市民 日程:半日 3/20)</p> <p>①回収枚数 17枚  ②事業の満足度・主な意見  【初回参加】 12枚  <b>「満足度」(91.7%) 大変満足50.0% 満足41.7% 普通8.3% 不満0.0% 大変不満0.0%</b>  【複数回参加】 5枚  <b>「満足度」(100.0%) 大変満足100.0% 満足0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</b></p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お風呂でリラックスできたし、薬草風呂なので、さらに良かったです。</li> <li>・子どもは3歳ですが、皆さんに優しくお手伝いいただいて、とても楽しそうに喜んでいました。</li> <li>・コロナで大変な時に、工夫して楽しめる方法を考えてくださり、ありがとうございます。</li> </ul>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>○受入事業  意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ等で、施設としての考え方を説明している。  利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。</p> <p>《主な意見と対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリーでは、逆回りのコースの班が迷ってしまうことが多く、迷わずにできる方法があれば教えていただきたいです。  ⇒事前打合せの際に下見をしっかりと行い、指導者の立哨ポイントも確認するよう提案します。</li> <li>・竹スプーン作りが難しく、あまり学校で使われていない小刀については、使い方などの図があると分かりやすいです。  ⇒説明の際、小刀を使ったことがあるかの確認をし、初めてであれば持ち方から説明をするようにします。</li> <li>・キャンプ場のトイレが故障しており、長蛇の列となったので改善してほしいです。  ⇒公園管理者に早急に連絡し、修繕してもらいました。故障時は代わりのトイレの案内をしっかりと行い、混雑の緩和に努めます。</li> </ul>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【少年自然の家】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
I 公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	(1)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	すべての利用者の平等利用を確保するため、きめ細やかなモニタリングを実施しているか。 モニタリングの結果を真摯に受け止め、常に市民の目線で、改善に向けた取組みを実施しているか。 「ユニバーサルサービスの推進」を重点目標とし、モニタリングに関する取組みの他にも、3つの取組みを着実に実施しているか。 ①類似施設への視察や類似施設で働く職員との意見交流を積極的に行い、先進的な取組みや見本となる取組みを取り入れる。 ②事業団の運営する施設が緊密に連携して、各施設の取組み状況をチェックし、改善の促進を図る。 ③人権啓発研修会、車いす体験研修会などの研修会に積極的に参加し、様々な人の視点で施設運営の見直し、改善を図る。 ソフト・ハード両面で、職員の専門性・ノウハウを生かし、ユニバーサルサービスの推進を図っているか。	S	A	A
		(2)情報提供、広報の方策	情報公開については、下記の基本的な考え方に基づいた対応を行っているか。 (1)関係法令の遵守 (2)公開請求について (3)情報公開体制の公表 (4)全職員への周知徹底 より多くの市民の皆さんに情報提供ができるよう、4つの方策に基づいて、広報活動の推進を図っているか。 (1)各種媒体の積極的な活用 (2)学校との協力体制の構築 (3)ホームページの充実 (4)積極的な体験機会の提供	S	S	S
		(3)個人情報を保護するための方策	個人情報については、下記の基本的な考え方に基づいて、適切な取扱いを行っているか。 (1)関係法令の遵守 (2)個人情報の取扱いについて (3)個人情報保護体制の公表 (4)全職員への周知徹底	A	A	A
		(4)その他指定管理者の提案によるもの	利用団体の年間予約については、平日の学校利用の優先などに配慮し、調整を図っているか。 管理運営する他施設と十分連携し、当事業団全体で、人権に対する取組みを推進しているか。 反社会的勢力対策に万全を期すため、組織的な体制を整え、基本方針に基づいた対応の徹底を図っているか。	S	S	S
		区分評価				

<p style="text-align: center;">Ⅱ 効果性</p>	<p style="text-align: center;">事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものである こと</p>	<p>(1)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容</p>	<p>各事業の重点目標に基づいて、改善、工夫又は新規の取組みを積極的に進めているか。</p> <p>&lt;受入事業&gt;</p> <p>(1)自然の家の3つの願いに基づく利用の推進</p> <p>(2)専門職員による指導・支援体制の充実</p> <p>(3)利用満足度の向上</p> <p>&lt;主催事業&gt;</p> <p>(1)自然の家の3つの願いに基づく事業運営の推進</p> <p>(2)新規活動プログラムの提供と充実した指導・支援</p> <p>(3)家族間交流を図る活動プログラムの推進</p> <p>(4)事業満足度の向上</p> <p>&lt;研修・啓発事業&gt;</p> <p>(1)体験型研修会の充実</p> <p>(2)積極的な自然体験活動の普及</p> <p>(3)積極的な自然情報の発信</p> <p>&lt;研究・開発事業&gt;</p> <p>(1)専門性の向上を図るための職員研修の充実</p> <p>(2)新規活動プログラムの積極的な開発</p> <p>(3)個人研究「自己課題」への取組みの推進</p> <p>&lt;自主事業&gt;</p> <p>(1)「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の充実</p> <p>(2)幼児対象事業及び出展事業の推進</p>	S	A	A
		<p>(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策</p>	<p>アンケート調査及び聞き取り調査を、事前・当日・事後を通して、段階的に実施しているか。</p> <p>利用者ニーズ、苦情などに適切に対応するため、3つの方策に基づく取組みを着実に実行しているか。</p> <p>(1)組織的な対応の徹底</p> <p>(2)実務研修(OJT)の推進</p> <p>(3)外部研修会への積極的な参加</p>	S	A	A
		<p>(3)利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)</p>	<p>利用者のサービス向上を図るため、4つの方策に基づく取組みを着実に実行しているか。</p> <p>(1)接遇方針の周知徹底</p> <p>(2)体験を通じたプロモーション活動の推進</p> <p>(3)各種媒体を活用したプロモーション活動の推進</p> <p>(4)ニーズに対応した設備整備の推進</p>	S	S	S
		<p>(4)利用促進、利用者増の方策</p>	<p>利用促進、利用者増を図るため、現状を踏まえた3つの方策に基づき、具体的な取組みを実施しているか。</p> <p>(1)冬期に特化した活動プログラムの開発とプロモーション活動の推進</p> <p>(2)主催事業における“常に新しい活動プログラム”の提供</p> <p>(3)公園管理者や体育館との協力事業の推進</p>	S	A	A
		<p>(5)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど</p>	<p>サービスの質を確保するための、4つの方策に基づく取組みを着実に実行しているか。</p> <p>(1)きめ細やかなモニタリングの実施</p> <p>(2)改善システムの適切な運用</p> <p>(3)体育館・公園管理者との協体制の構築</p> <p>(4)類似施設との協体制の構築</p>	S	A	A
		<p>(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置</p>	<p>高度な専門性とノウハウを備えた専門職員が、充実した指導・支援を行っているか。</p>	S	S	S
		<p>(7)その他指定管理者の提案によるもの</p>	<p>市内学校の利用が円滑に行えるよう、必要に応じて、臨時開所をしているか。</p> <p>活動プログラムを効果的に提供できるよう、専門性やノウハウを生かした教材づくりを行っているか。</p>	A	A	A
		区分評価				

<b>III</b> 効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	過度な経費の削減により、サービスの低下を招かないよう、サービスとコストのバランスを十分に踏まえた施設運営を行っているか。 (1)施設管理のための適正な予算措置 (2)長期展望に立った施設運営による経費の削減とサービスの向上 (3)サービスの向上と安全の確保のための職員体制	S	A	A
		(2)収支計画の妥当性	過去の実績をもとに、必要経費の見直しを図り、実情に即した収支計画を立案しているか。 (1)サービスとコストのバランスを考慮した収支計画の立案 (2)重油価格などの物価変動の激しい経費の収支計画 (3)適正な教材費の設定	A	A	A
		(3)管理経費削減の具体的方策	“職員でやれることは職員で”をモットーに、自前での修繕・整備を推進し、大幅にコストを削減しているか。 消耗品や備品の一括購入により、経費を削減しているか。 電気使用量・料金の削減を図るため、下記の取組みを行っているか。 ①岐阜市との協議の上、照明のLED化を推進 ②デマンド監視システムによる電力の効率的な使用 ③最適な電力供給会社の選定 ④消灯チェックなどを行う館内点検の強化 ⑤全職員で毎月の電気使用量・料金チェック 重油の単価契約を事業団独自で行い、燃料費の削減を行っているか。 電子媒体の活用により、切手代などの郵送料を削減しているか。 各種冊子の印刷製本を自前で行い、印刷製本費の削減を行っているか。	S	S	S
		(4)その他指定管理者の提案によるもの	教材を安価に仕入れ、利用者に低価格で提供することで、サービスの向上(実費負担の軽減)に努めているか。 “手づくりのぬくもり”を大切にしながら、サービスの向上に努めているか。 低炭素社会を創出するため、「岐阜市環境基本計画」等に則り、環境に配慮した事業運営を行っているか。	A	A	A
		区分評価				

IV 安定性 安全性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	(1)経営基盤の安定性	経営理念「わたしたちは、教育・文化活動を通じて、市民の健康な心と体づくりを応援し笑顔と生きがいのあふれる豊かな生活づくりに貢献していきます」を2つの点から実現しようと努力しているか。 (1)公益法人としての高い信頼性 (2)安定した財務内容	S	A	A
		(2)スタッフ配置の妥当性	充実した指導・支援体制と無理のない勤務の両立を図っているか。	A	A	A
		(3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	高度な専門性とノウハウを備えた専門職員が施設運営を行っているか。 (1)職員の高度な専門性とノウハウの活用 (2)自然の家の運営に適した資格の保有	A	A	A
		(4)スタッフの管理、監督体制	8つの項目に重点を置き、管理、監督体制の徹底を図っているか。 (1)目標の共有と達成に向けたチームワークづくり (2)施設長会議・所内経営会議・職員会議による周知・徹底 (3)法令の遵守 (4)女性が働きやすい環境の整備 (5)ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境づくり (6)セクシャルハラスメント・パワーハラスメント対策 (7)メンタルヘルス対策 (8)報告・連絡・相談の徹底	SS	S	S
		(5)スタッフの人材育成の方策	4つの方策に基づく取組みを通して、自然の家の運営に適した人材の育成を図っているか。 (1)当事業団全体の研修会の実施 (2)自然の家独自の研修会の実施 (3)実務研修(OJT)の実施 (4)個人研究「自己課題」への取組みの推進	S	S	S
		(6)リスクへの対応方策、利用者への安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	リスクへの対応に万全を期し、安全・安心な施設運営を行っているか。 (1)事故防止対策 (2)防犯対策 (3)「表示マーク(銀)」の交付 (4)「応急手当協力事業所」の登録 (5)環境衛生対策 (6)緊急時の対応	S	S	S
		(7)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	下記のように、リスクへの対応能力を備えているか。 (1)全国市長会市民総合賠償補償保険での対応 (2)施設管理に関する賠償責任保険への加入 (3)主催事業等における保険への加入 (4)当事業団の資金力について	S	S	S
		(8)その他指定管理者の提案によるもの	学校及び教育委員会、市内公共施設と十分に連携して施設運営を行っているか。	A	A	A
		区分評価				

<b>V</b> 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(「地元」)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	岐阜市が標榜する「5年先行く教育」の実現のため、英語教育、理数科教育に寄与する事業の充実を図っているか。 (1)「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の運営 (2)「ぎふサイエンス・キャンプ」の受け入れ (3)「ぎふサイエンスフェスティバル」への出展 市内の児童生徒に効果的に「アクティブ・ラーニング」の場を提供できるよう、市内学校を優先して利用調整を図っているか。 三輪地域の振興、活性化に貢献できるよう、協力事業、出展事業を推進しているか。 (1)三輪地域の環境を生かした協力事業の推進 (2)地元イベントでの出展事業の推進 三輪地域の自然情報を積極的に発信しているか。 (1)「季節の散策マップ」の配布 (2)ホームページ等による紹介 「子どもが夢を！ 青少年が志を！ 市民みんなが生きる喜びを！」の具現に向けて、市内各種団体の健全な育成に寄与できるよう努めているか。 (1)出前講座や事業協力の推進 (2)遠足や社会見学などでの活動プログラムの提供と指導・支援 (3)大学ボランティアスタッフの育成 再委託業務の指名については、地元業者を考慮しているか。	S	S	S
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	地元の住民、高齢者、障がい者を積極的に雇用しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	備品、資材等を調達する際は、原則、市内の業者に発注しているか。	A	A	A
		(4)地元での社会活動等への参加	「安全・安心のまち 三輪」を推進する施設としての役割を果たしているか。 (1)「子どもスマイルステーション」 (2)応急手当協力事業所 行事などを通して、幅広く地元での活動に参加しているか。	S	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの	「MAGロード(東海環状自動車道)」岐阜三輪スマートIC(仮称)の設置にともなう地元の活性化に寄与しているか。 (1)市外・県外の団体の受け入れ体制の整備 (2)市外・県外への広報活動の充実 「岐阜ファミリーパーク再整備計画」の進捗状況に即した事業を推進し、公園や地元の活性化に寄与しているか。	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み  
に対する評価

(I-1)

・新型コロナウイルス感染症への厳格な対応により、利用者の安全・安心を守る公共サービスとして責任ある運営に努めた。そして、全職員がマニュアルの確かな共通理解のもと、利用者の平等利用を踏まえ責任ある業務の遂行に努めた。

・類似施設への視察や取組

「湖北野鳥センター」など類似施設への視察を通して、主催事業の参加者が密とならないようにするなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を学び、数台のタブレットPCとカメラを利用した広範囲で視聴できるバードウォッチングを開発、実施した。

・人権啓発研修の取組

事業団が主催する「車いす体験・高齢者疑似体験研修会」や「LGBTs研修会(新規)」へ参加し、また、自然の家独自で、**毎月1回所員が講師となり「人権啓発研修会」を実施(年間12回)するとともに、所員が作成した「人権にかかわる資料」の回覧(年間24回)を行って人権感覚を高め、ユニバーサルサービスの推進を図った。**

(I-2)

・SNSの積極的な活用

今年度より、新型コロナウイルス感染症に関わる非常事態宣言により学校が休校となった子どもたちに、家庭でできる様々なレクリエーションを知ってもらおうと、**YouTube動画の配信を始めた。**これまでの自然の家のノウハウを生かしながら、家にある物を使って、家族で楽しめる遊びを中心に、多くの子どもたちに情報を発信した。

**YouTube年間13本(下半期2本)、チャンネル登録者数60件、総動画再生回数3,260回超**

・新着情報として、主催事業の募集案内や活動の様子、季節の自然の紹介など、「Facebook」や「Instagram」を有効に活用した広報を実施し、ホームページからSNSへリンクを張るなど、**SNS世代の若い年齢層への情報発信を積極的に行った。**

SNS投稿回数:年間53回(上半期38回・下半期15回)(Facebook、Instagram)

1投稿あたりの「いいね」の数が、**今年度上半期と比べ104.6%と上昇した。**

Instagramフォロワー数は、**今年度上半期と比べ119.3%と上昇した。**(上半期末151件・下半期末180件)

・迅速な情報公開

ホームページで開所日や新型コロナウイルスに関する施設利用についてお知らせを行うなど、タイムリーに情報を発信し、迅速な情報公開に努めた。

・主催事業、自主事業における各事業の募集をはじめ、施設案内、活動プログラム、自然情報等、自然の家の様々な情報をより多くの市民の皆さんに提供するため、「広報ぎふ」や地域情報誌、ちらし配布やホームページ等各種媒体を積極的に活用した広報活動の推進を図った。

・事業団のホームページ上にSNS開設のお知らせと同時に、「**岐阜市教育文化振興事業団SNS運用方針**」も公表し、SNSの情報発信にあたり利用者の誤解や混乱を生じないように努め、法令等に従い適切に管理している。

(I-4)

・令和2年度における利用受入れについて

・臨時開所による対応

できる限り希望に添えるよう、**下半期は7日間休所日を臨時開所して対応した。**

・令和3年度に向けての年間利用調整について

・利用団体の年間利用調整(年間予約)は、各団体から利用希望時期を記入した利用希望調査書を提出していただいたうえで、**新型コロナウイルス感染症感染防止マニュアルに則った「新たな利用のしかた」を前提として、利用調整原則に基づき調整を図った。**

また、その結果は小中学校や子ども会、ボーイスカウト等の代表者で構成されている利用調整委員会で審議、承認され、高評価を得ることができた。

・小中学校の利用では、学校行事(修学旅行・運動会等)と重ならないよう配慮することや、特別支援学校においては、子どもの体調管理を考慮し、原則、利用日の次の日が学校休業日となる木金の利用とした。また、公平・公正な年間利用調整となるよう、「**第3希望での調整**」、「**小中学校の利用では、振替が必要となる金土利用**」、「**学校休業日明けで、子どもの健康状態が把握しづらい月火の利用**」が続かないよう配慮した。

・利用希望時期は、1か月を上旬・中旬・下旬に分け第3希望まで記入していただいているが、できる限り第1・第2希望で調整できるよう、以下の点を考慮し調整を図った。

○**新型コロナウイルス感染症感染防止マニュアルに基づく、新しい定員での受入れ**

○**活動内容に配慮した組み合わせ**

○**休所日の臨時開所(9日間)**

【令和3年度における利用調整結果】

- 岐阜市立小中学校及び特別支援学校(上半期に調整)  
第1希望:62校(88.6%) 第2希望:8校(11.4%) 第3希望:0校(0.0%)
- 岐阜市立小中学校以外の学校  
第1希望:26校(54.2%) 第2希望:21校(43.8%) 第3希望:1校(2.0%)
- 青少年団体等  
第1希望:72団体(80.9%) 第2希望:12団体(13.5%) 第3希望:4団体(5.6%)

(Ⅱ-1)

・受入事業での利用満足度

「利用全般」(100.0%):大変満足76.5% 満足23.5% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%  
「施設・設備」(97.1%):大変満足67.7% 満足29.4% 普通0.0% 不満2.9% 大変不満0.0%  
「職員の対応」(97.1%):大変満足76.5% 満足20.6% 普通2.9% 不満0.0% 大変不満0.0%  
「食堂の食事」(100.0%):大変満足50.0% 満足50.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%

・SNSを活用した情報発信

今年度から、新型コロナウイルス感染症に関わる非常事態宣言で学校が休校となった子どもたちを対象に、家庭でできる様々なレクリエーションを知ってもらうため、YouTubeでの動画配信を開始した。自然の家のノウハウを生かしながら、家にあるものを使って家族で楽しめる遊びを中心に、多くの子どもたちに情報を発信した。令和2年度の配信数は13本(上半期11本、下半期2本)、チャンネル登録者数は60件、総動画再生回数は3,260回を超えた。

・新着情報として、主催事業の募集案内や活動の様子、季節の自然の紹介など、「Facebook」や「Instagram」を有効に活用した広報を実施し、ホームページからSNSへリンクを張るなど、SNS世代の若い年齢層への情報発信を積極的に行った。また、令和2年度にInstagramへ投稿、配信した写真を取りまとめ、地域貢献事業や市民のつどいにおいて「Instagram写真展」を実施した結果、フォロワー数が20件増加した。

SNS投稿回数:年間53回(上半期38回・下半期15回)(Facebook、Instagram)

1投稿あたりの「いいね」の数が、今年度上半期と比べ104.6%と上昇した。

Instagramフォロワー数は、今年度上半期と比べ119.3%と上昇した。(上半期末151件・下半期末180件)

・専門性の向上を図るための職員研修の充実

「チェーンソー(伐木)特別教育」を3名が、「ネイチャーゲームリーダー養成講座」を2名が受講し、「ボランティアコーディネーション力3級資格」を1名が取得した。その他、外部講師を招いて「バードウォッチング」「アウトドア活動」の職員研修会を実施し、また、「湖北野鳥センター」や野鳥の会主催の探鳥会、事業団による研修会(下半期6回)に参加し、職員の専門性向上を図った。

・コロナ禍における新規活動プログラムの開発

双眼鏡使用による接触リスクを回避するため、「タブレットPCとカメラ」を活用したバードウォッチング活動を新たに開発し、市民のつどい「遊湯わくわく三輪」「ファミリーフェア」で実施した。カメラをbluetooth等でタブレットPCにつなぎ、モニターの役割とすることで、接触感染リスクが解消され、参加者が安心して活動することができた。アンケートにおいて「コロナ禍でも工夫してあり楽しめた。」との感想をいただいた。なお、本活動を行うにあたり、事前に野鳥の会岐阜の協力のもと、探鳥会への参加、職員を対象とした「バードウォッチング研修」を実施し、活動プログラムの充実を図った。

・ファミリーパーク来園者を対象に自然体験ミニイベントを実施。1事業1回に34人が参加し好評を得た。

(Ⅱ-2)

・アンケート調査

自然の家を利用するすべての団体へアンケート調査を実施し、すべての項目において満足度97%以上と好評を得た。また、アンケート結果及び意見や要望への回答・改善策はホームページに公開している。

・外部研修会への積極的な参加

「チェーンソー(伐木)特別教育」を3名が、「ネイチャーゲームリーダー養成講座」を2名が受講し、「ボランティアコーディネーション力3級資格」を1名が取得した。その他、外部講師を招いて「バードウォッチング」「アウトドア活動」の職員研修会を実施し、また、「湖北野鳥センター」や野鳥の会主催の探鳥会、事業団による研修会(下半期6回)に参加し、職員の専門性向上を図った。

(Ⅱ-3)

・岐阜市立小学校への出張講座の実施

新型コロナウイルスの影響で岐阜市少年自然の家での宿泊研修が中止になった、岐阜市立の小学校5年生を対象に、宿泊研修で行われていたクラフト体験などの出張講座を企画。下半期では、24校25回1,790人、93コマ(クラス数×45分)の出張講座要請に対応した。参加した子どもや学校からは、職員に対して多くの感謝の言葉をいただいた。

【出張講座の内容】 ※活動時間は学校の授業に組み込みやすいよう1コマ45分からとした。

- 記念メダル作り 活動時間:45分
- ピンナップボード(焼杉バージョン)作り 活動時間:45分(焼杉の場合はプラス45分)
- 竹ばし作り 活動時間:45分
- 竹スプーン作り 活動時間:90分
- キャンドルサービス 活動時間:45分

・各種媒体を活用したプロモーション活動として、Instagramへ投稿、配信した写真を取りまとめ、地域貢献事業や市民のつどいにおいて「Instagram写真展」を実施した結果、フォロワー数が20件増加した。

今期の取組み  
に対する評価

(Ⅱ-4)

・非常事態宣言により、利用停止期間(臨時休所)において、岐阜市少年自然の家に来られない利用者のために、自然の家から情報発信をしようと、InstagramやFacebookに加えて**新たに動画配信サイトYouTubeでの配信をステイホーム期間より始めた**。また、新型コロナウイルスの影響で岐阜市少年自然の家での宿泊研修が中止となった**岐阜市立の小学校5年生を対象に、出張講座を実施した**。このように**コロナ禍においても、様々なツールを活用、工夫することで少年自然の家の利用促進、利用者増に努めた**。(下半期:24校25回1,790人、93コマ(クラス数×45分))

・**コロナ禍における新規活動プログラムの開発**

双眼鏡使用による接触リスクを回避するため、「**タブレットPCとカメラ**」を活用した**バードウォッチング活動を新たに開発し**、市民のつどい「遊湯わくわく三輪」「ファミリーフェア」で実施した。カメラをbluetooth等でタブレットPCにつなぎ、モニターの役割とすることで、接触感染リスクが解消され、参加者が安心して活動することができた。アンケートにおいて「コロナ禍でも工夫してあり楽しめた。」との感想をいただいた。なお、本活動を行うにあたり、事前に野鳥の会岐阜の協力のもと、探鳥会への参加、職員を対象とした「バードウォッチング研修」を実施し、活動プログラムの充実を図った。

(Ⅱ-5)

・**きめ細やかなモニタリング**

自然の家を利用する**すべての団体へアンケート調査を実施し**、すべての項目において**満足度97%以上と好評**を得た。また、アンケート結果及び意見や要望への回答・改善策はホームページに公開している。

・**体育館・公園管理者との連携**

・ファミリーパーク指定管理者主催のイベント「クリスマスリース作り」において、自然の家職員が講師となって、ものづくり指導をするなど、連携協力した。

・公園利用者の安全確保を最優先に、公園管理者や体育館管理者と連携を密に取り合いながら、自然の家職員もファミリーパークの環境整備に努めた。

【自然の家職員が実施した取組みの一例】

①公園内散策道の整備(倒木撤去、草刈り)②豚熱対策(消石灰の散布)

・ワンストップサービスを心がけ、自然の家利用団体が体育施設や公園施設を利用する際、連絡を密に取り合い、利用団体に不便がかからないよう体制を構築している。

・**類似施設との協力体制構築**

事業団では、3月に**全国各地の指定管理者と大規模災害発生時の応援協定を締結した**。この協定により、有事の際、協定に参画する全国各地の団体から人員や物資の応援を受けることができる。また、当事業団が管理運営するすべての施設が適用されることから、**全国からの応援により地域の被災者対応ができる体制を構築している**。

(Ⅱ-6)

・事業計画書に記載している職員配置の原則に則り、すべての団体のすべての活動に職員を配置し、適切に指導・援助を行った。特に野外炊事や川での活動には、より安全性を高めるため、複数の職員を配置した。

・天候の急変、サル・イノシシ・クマの出没情報等に迅速に対応するため、ウォークラリー、オリエンテーリングを実施する際は、コースを巡回する職員を配置した。

・急な活動計画の変更があった場合も、「朝の打合せ会」等で、指導援助体制の調整を図り、適切に職員を配置した。

・準備段階である「事前打合せ会」や下見等においても、すべての団体に職員を配置し、指導者への適切な指導援助に努めた。

・上記の取組みの結果、「利用者アンケート」の記載には、「指導体制が充実している」、「指導援助の在り方が適切である」といった内容が大変多く見られた。

**「職員の対応」の満足度97.1%**(大変満足76.5% 満足20.6%)となった。

(III-(1))

・特に利用者の安全確保を最優先にサービスとコストのバランスを十分考慮して施設運営を行った。

・安全確保を最優先としたサービスの提供

新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先に対応した。

- 宿泊室のベット312床に、半永久的に効果が持続する抗菌抗ウイルス光触媒コーティング塗装を施した。
- 食堂内テーブルに、飛沫防止のためアクリル板(108枚)とマスクフック(216個)を設置した。
- 手指や清拭消毒用のアルコールやペーパータオル等を計画的に購入した。
- 3密回避のため、換気状況の悪かった換気扇等の取替を行った。
- 転倒防止など安全確保のため、散策コース上にある「よねんばし」の架け替えを行った。

・コストをかけないサービスの提供

職員自らが修繕や環境整備を行ったりSNSなどを積極的に活用したりすることで、コストの削減とサービスの向上を図った。

- 脱衣所の洗面台に、飛沫防止のためビニールカーテンを設置した。
- 感染防止のため、洗面所の蛇口(85個)をレバー型へ交換した。
- 常時換気を行うため、食堂及び宿泊室の網戸の張替を重点的に行った。
- 全館のトイレを総点検し、水漏れなど異常箇所の修理を職員で行った。
- 職員がオリエンテーリングコースなどの草刈りや倒木除去等、活動前の点検整備を必ず行った。
- 施設利用後には職員により清拭消毒を実施した。
- SNS(YouTube、Instagram、Facebook)で地域の自然情報などの情報発信を図った。(下半期投稿数 YouTube 2回 Instagram15件 Facebook15件)
- 「自然の家だより」(下半期掲載数 4回)を市内小中学校へデータ配信するとともに、ホームページに掲載し広く情報発信を行った。

(III-(3))

・管理経費縮減の具体的方策

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一つとして、施設内にある洗面所の蛇口(計85個)を、レバー型に切り替える作業を職員で行うことで、管理経費の削減を図った。また、利用後のベット・机・椅子・道具類等の消毒作業も職員で行っている。
- ・施設の様子が利用する前にも分かるように、施設紹介動画を職員のスキルや努力・工夫により作成した。
- ・職員の作業でピクチャーレールを宿泊室の廊下に設置し、展示スペースとして有効活用することができた。
- ・主催事業において、インターネットでのWeb申込みを導入したことで、コスト縮減と市民の利便性向上の両立を図った。
- ・ウォークラリーやオリエンテーリングコースの倒木等の除去や整備において、職員3名がチェーンソーを安全に扱うための資格を取得し、倒木除去等の整備を職員で行うことで、経費縮減を図った。
- ・利用者が安全に活動できるようクラフト備品の点検を行い、小刀の研磨をはじめ、経費を縮減できるよう職員の作業により整備、修理した。

(IV-(1))

・当事業団は、設立以来32年間、岐阜市の公益事業に従事し、様々な公共施設の管理運営による経験と実績を積み重ねて、営利を目的としない専門性の高い事業を提供できるノウハウと技術を蓄積してきた。加えて、平成23年には、市の外郭団体として初めて「公益財団法人」に認定され、以降、公益性の高い団体として、社会的な信頼も継続しつつ、質の高い事業を実施している。今期のコロナ禍で活動が制限されている中、自然体験に関する動画配信や出前講座、施設の安全対策など、専門性の高いノウハウと技術を活かしながら、指定管理者としての使命を果たし、経営理念の実現に向け、積極的に取り組むことで、公益法人としての信頼に込めている。

・財務に関しては、業務のマルチ化による効率的な人員配置や電力自由化に伴う入札制度の導入など、経営努力で生み出された財源を、事業の充実などで市民に還元している。そのような中、財務基盤の安定性を示す「自己資本比率」は、令和元年度決算においても高い数字を維持している。また、短期的な支払能力を示す「流動比率」、「当座比率」は共に継続して100%を超えており、安全な財務基盤を確保している。

【財務の安定性を示す主要指標】 (単位:%)

	H27	H28	H29	H30	R1
自己資本比率	66.5	66.8	67.6	66.8	68.3
流動比率	117.1	113.6	108.7	106.3	106.0
当座比率	117.0	113.4	108.5	106.1	105.8

自己資本比率、流動比率、当座比率はいずれも財務の安定・安全性を示す指標である。

加えて、経営の安定を図るため、平成22年度から「経営安定基金」を設置することで、不測の事態が起こった場合に、対応できる体制を有している。

【経営安定基金の額】（単位:円）

	H27	H28	H29	H30	R1
経営安定基金	75,541,227	87,979,174	93,689,178	103,355,086	109,367,804

(注記)

上記の「経営安定基金」は、法的拘束力のある特定資産ではなく、法人の任意で積み立てているものであり、会計上固定資産に計上しているが、不測の事態が起きた際には、理事会の決議により債務の返済に充てることが可能な資金である。令和元年度決算において、経営安定基金額を流動資産とみなした場合の流動比率は228.8%、当座比率は228.6%となる。

(IV-(4))

・ **岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業の認定基準の継続**

優秀な人材の確保と職員の働く意欲を向上させるため、育児と仕事の両立支援や女性の活躍推進に向けた取組みを通して、職員が働きやすい環境を整備し、良質な市民サービスの提供につなげている。岐阜県に「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定を申請した結果、これまでの事業団の取組みに対し、審査会で27項目中21項目が評価され、他の模範となる企業のひとつとして、「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業(147社/3,200社「令和元年度末」)の認定をいただいた。

「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定は**毎年の取組みに対し、3年に一度の審査があり、その時の時代背景を鑑みた課題が設定されるため、今後も継続できるよう、さらなる職場環境の向上に努める。**

・ **基準適合一般事業主(くるみん)の認定**

事業団では、国が定める次世代育成支援対策推進法に基づき策定した行動計画(女性の育児休業取得率80%以上、育児休業等諸制度に関する研修会の実施、年次有給休暇取得の推進)の目標を達成したことにより、厚生労働大臣より「くるみん認定」を受けた。

・ **ぎふし共育・女性の活躍企業の認定**

事業団では、岐阜市が推進する男性の育児参画により夫婦とともに子育てを行う「共育」への取組みや女性がその個性や能力を十分に発揮し、社会において活躍できる取組み、多様な働き方・生き方が選択できる社会を目指した取組み等を推進し、年次有給休暇取得率50%以上の維持、育児休業後の職場復帰率100%など、認定要件を満たしたことから、岐阜市より「ぎふし共育・女性の活躍企業」として認定された。

・ **岐阜市男女共同参画優良事業者の表彰**

事業団では、各種休暇制度の拡大や育児休業・育児休暇支援、女性の活躍推進に向けた取組み等、男女共同参画推進に向けての取組みを積極的に行い、岐阜市よりその推進に顕著な功績があったと認められたことから、「岐阜市男女共同参画優良事業者」の表彰を受けた。

(IV-(5))

・ **自然の家独自の研修会**

- 外部講師を招いて「バードウォッチング研修」「アウトドア技能研修会」を実施
- 「ネイチャーゲームリーダー養成講座」「ボランティアコーディネーション力3級検定直前研修」「チェーンソー(伐木)特別教育」に参加し、それぞれ資格を取得
- 食品衛生課に依頼し、「食品衛生研修」を実施
- 毎月1回所員が講師となり「人権啓発研修会」を実施(年間12回)し、所員が作成した「人権にかかわる資料」を回覧(年間24回)
- 「湖北野鳥センター」をはじめ、野鳥の会主催の探鳥会に参加

・ **事業団の研修会**

- 「LGBTs研修会」「車いす・高齢者疑似体験研修」等(下半期6回)に参加

(IV-(6))

・ **新型コロナウイルス対策**

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、岐阜市と緊密に連携を取りながら、イベント等のコロナ対策を徹底して開催。ポスター等による利用者への啓発、アルコール消毒の設置などを速やかに実施した。また、国や自治体が発表したガイドラインを基に、変更があった場合は即座に「**新型コロナウイルス感染症感染防止マニュアル**」を改定し、感染防止対策を徹底して行っている。

- 令和3年3月の時点で、**感染防止マニュアルを6回改定**
- 宿泊室の**抗菌抗ウイルス光触媒コーティング塗装**
- 宿泊棟**洗面所の蛇口85箇所をレバー型へ交換**
- 食堂の机に、飛沫防止対策として**アクリル板を設置**

● **新型コロナウイルス感染症に関する取り組み** (感染防止マニュアルより抜粋)

【施設及び職員の対策】

- ・出勤前の検温、対策実施チェックシートの記入、マスク着用、アルコール消毒液の設置、ビニールカーテンの設置、こまめな換気等。
- ・①入所時、②受付、③入(退)所式、④事前打合せ会、⑤施設の定員数、⑥その他の対策の項目ごとに詳細をマニュアルで規定。

【利用者の対策】

- ・3密回避を徹底してもらい、体調に異変を感じた時は、すみやかに職員に申し出てもらう。
- ・①入所時、②受付、③入(退)所式、④その他、館内での過ごし方の項目ごとに詳細をマニュアルで規定。
- ・ソーシャルディスタンスを考慮し、宿泊室や研修室等の定員数の見直しと表示。
- ・消毒及び清掃方法については、清拭消毒をする場所・回数・実施者など詳細をマニュアルで規定。
- ・「利用者」、「職員及びその家族」と区別し、それぞれの場合で感染の疑いの際の対応に分けて、詳細をマニュアルで規定。
- ・万が一、利用者に感染が発生した場合は、すべての施設の利用を停止する。利用の再開については、保健所の指導のもと、社会・青少年教育課と協議の上、決定する。

・ **安全点検の強化**

中央監視装置の故障に伴い、利用がある日は、午前・午後・夜間と計3回は館内設備全ての点検を行い、利用のない日でも、1回は必ず設備点検を行うことで、**施設の異常の早期発見と利用者の安全のため、施設設備の点検を強化した。**

・ **土砂災害対策**

岐阜市少年自然の家周辺が土砂災害(特別)警戒区域に当たることから、土砂災害の発生または発生のおそれがある場合に対応すべき必要な事項を「**土砂災害に関する避難等の対応について**」として定め、運用を始めた。

・ **熱中症対策**

暑さ指数計を活用し、熱中症の危険度を判断する数値として、暑さ指数(WBGT)の情報を利用者へ提供した。また、暑さによる活動の変更にも柔軟に対応した。さらに、ミスト扇風機をオリエンテーリングやウォークラリーの休憩地点、野外炊事場に設置し、熱中症予防に努めた。利用団体についても、熱中症で救急搬送されるような事態がなく、野外活動を行う自然の家として、熱中症対策を十分に行うことができた。

・ **豚熱対策**

豚熱ウイルスの拡散防止に向けて、公園管理者と協力して、引き続き遊歩道出入りに消石灰を散布することとした。自然の家の管理区分ではないが、散布する9か所のうち2か所を自然の家が散布することとし、月1回程度及び雨天後に消石灰を散布することで、豚熱ウイルス拡散のリスク減少に努めた。

・ **全国各地の指定管理者との災害応援協定の締結**

事業団では、3月に全国各地の指定管理者と大規模災害発生時の応援協定を締結した。この協定により、有事の際、協定に参画する全国各地の団体から人員や物資の応援を受けることができる。また、当事業団が管理運営するすべての施設が適用されることから、全国からの応援により地域の被災者対応ができる体制を構築している。

(IV-(7))

・主催事業や自主事業の参加者の怪我や事故に対応するため、全国市長会市民総合賠償保険以外に、事業団独自で傷害保険に加入し、万が一に備えている。  
また日帰りの事業について、保険加入方法を**事業団が管理する全施設の年間包括契約とし、毎年、保険内容を精査し、仕様に基づいた競争入札を行うことで、保険料の上昇を抑えつつ、「往復途上傷害危険担保特約」**の他、「**熱中症危険補償特約**」を付加し、**補償内容の維持を図った。**

・**熱中症危険補償特約**

近年増加傾向にある熱中症に対応するため、普通傷害保険の補償内容に「**熱中症危険補償特約**」を付加。事業参加者の万が一に備えるとともに、事業団に係るリスクへの対応を強化している。

・**給付保険金額の維持**

熱中症対策の強化を図るとともに、死亡・後遺障害に対する補償額の引き上げも行い(令和元年度)、事業を実施する上での安心・安全面の向上を図っている。

【新契約】		【旧契約】	
給付内容	1人あたりの保険金額	給付内容	1人あたりの保険金額
死亡・後遺障害保険金額	10,000,000円	死亡・後遺障害保険金額	9,000,000円
入院保険金(日額)	5,000円	入院保険金(日額)	5,000円
手術保険金(入院時)	50,000円		
手術保険金(外来時)	25,000円		
通院保険金(日額)	3,000円	通院保険金(日額)	3,000円

(V-(1))

・**地元団体の育成**

・地域貢献事業「遊湯わくわく三輪」を地元小学校及び自治会と協力し、実施した。今年度は自然の家からの活動提供だけでなく、地元団体に働きかけ、発表や展示を行うことで、地域貢献に寄与することができた。

- 三輪北小学校落語クラブの発表会
- 三輪北自治会・三輪南自治会による作品展示

・**地元団体(ボーイスカウト岐阜連盟)と協力**して企画運営を行うため準備をしてきた。新型コロナウイルス感染症に伴い開催は中止となったが、令和3年度上半期に実施を予定している。

・**三輪地域の自然情報の積極的な発信**

・岐阜ファミリーパーク周辺における野鳥調査を行い、「**野鳥の会岐阜**」へ情報を提供し、「野鳥の会岐阜」の**会報誌「濃飛の野鳥」**に掲載された。

また、**令和2年度岐阜県ガンカモ科鳥類生息調査**について協力し、ファミリーパーク内で観察された**調査結果を提供した。**

・「**季節の散策マップ**」を発行し、ファミリーパーク内の**タイムリーな自然を積極的に発信した。**  
(上半期4回 下半期4回)

・**大学生ボランティアスタッフの育成**

主催事業や研修会等において、**大学生ボランティアの育成**に取り組んでいる。

活動の振り返りをする第2回ボランティアスタッフ研修会において、多くの学生が「自然の家での活動を通して、学校や家庭では味わえない社会を広げることができた」と話し、**サードプレイスとしての役割を果たすことができた。**

大学生ボランティアスタッフ登録者数47名(令和2年度)

・**地元プロスポーツチームの応援**

市民に夢と感動を与え、一体感を醸成するプロスポーツチーム(FC岐阜、岐阜スワープス、リオレーナ)の活動を市民の文化として育むため、事業団も職員一丸となってチームを応援している。多くの市民の目に留まる機会を増やすことで、興味をもってもらい、試合会場に足を運ぶきっかけになることが期待できるため、ホームページにバナーリンクを掲載した。

・ **ベルマーク運動で地域の小学校に協力**

ベルマーク運動に取り組んでいる小学校に協力するため、これまで職場で廃棄していた使用済みのインクカートリッジ(ベルマーク5点分)やトナーカートリッジ(ベルマーク50点分)を近隣の学校に寄付した。寄付した高得点のベルマークにより、学校の運営に必要な一輪車やボールなど、備品購入の手助けになることができた。学校やPTAのみなさんからは「ありがとうございます」といった声をいただいた。

**【ベルマークの協力先】**

協力施設	(提供先)
○岐阜市少年自然の家	(三輪南小学校)
○ドリームシアター岐阜	(明郷小学校)
○各青少年会館	(明郷小学校・日野小学校)
○岐阜市長良川以南の各体育館	(白山小学校)
○ハートフルスクエアG	(徹明さくら小学校)

(V-4)

・ **全国各地の指定管理者との災害応援協定の締結**

事業団では、3月に全国各地の指定管理者と大規模災害発生時の応援協定を締結した。この協定により、有事の際、協定に参画する全国各地の団体から人員や物資の応援を受けることができる。また、当事業団が管理運営するすべての施設が適用されることから、全国からの応援により地域の被災者対応ができる体制を構築している。

・ **地元での活動に参加・協力**

職員が自主的に施設周辺の清掃を行っている。施設周辺の道路や公園を定期的・継続的に清掃することで、地元の美化に貢献している。地域の美化活動に協力することで、施設のイメージ向上も図っている。また、年6回開催される三輪北地域での資源分別回収にも協力を続けている。

・ その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>【所管課の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ II-(3)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) コロナ禍で宿泊研修が中止となる中、これまで宿泊研修で行われていたクラフト体験などの出前講座を岐阜市立の小学校5年生を対象に企画し、体験を通じたプロモーション活動の推進を行っているが、今期においての実施実績が1校であるため、この評価とした。 ⇒下半期では24校25回1,790人の児童に対応した。</li> <li>・ IV-(1)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) 自己資本比率や流動比率の指標は、従来と大きな変動がなく、高い信頼性や安定した財務内容は引き続き維持していると判断し、この評価とした。 ⇒高い信頼性、安定した財務内容は、引き続き維持、充実を図りたい。</li> <li>・ V-(1)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) イングリッシュキャンプ、サイエンスキャンプなどは中止となり提案を実現できていない。また、この項目における業務履行は、評価項目の要求水準であるとして、評価した。 ⇒イングリッシュキャンプ、サイエンスキャンプ等は中止となったが、新たに、地元法人、その他の団体の育成が図れるような事業を実施した。</li> </ul> <p>【指定管理者評価委員会の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本市小学校5年生の宿泊研修での利用を全て中止するなど団体利用可能日数が大幅に減っているものの、出前講座等を企画し、様々なツールを活用、工夫することで、利用促進、利用者増加に努めている。 ⇒引き続き、出張講座等への対応のほか、様々なツールを活用、工夫、充実を図り、利用促進、利用者増に努めたい。</li> </ul>
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画書に記載した内容の着実な履行</li> <li>・ 専門性の追求と魅力あるプログラム開発</li> <li>・ 市の施策に応じた事業の展開。 「コンパスキューブ」の考え方に基づいた「アクティブ・ラーニング」の充実 「岐阜市教育大綱」の基本方針を踏まえた、自然の家の3つの願い「ほほえみ」「なかま」「自然」の具現化</li> <li>・ SDGsへの取組 活動プログラムとSDGsを関連付けた事業展開</li> <li>・ 自然の家を取り巻く環境の変化に応じた取組 岐阜ファミリーパーク再整備に向けた提案や、多様な地域資源を活かした事業展開</li> <li>・ 経費の縮減とサービスの向上の実現 既存業務の見直し、事務の簡素化・効率化の意識向上</li> <li>・ 給食業務の安全対策の強化と着実な実施</li> <li>・ 市と連携した新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応</li> </ul>

### ●所管課の意見

- 指定管理者や所管課の評価が、前回の評価委員会の評価から変化した項目
- 指定管理者と所管課で評価が異なる項目

#### I-(1)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) (●□)

人権啓発研修の充実等は、市民の目線で改善に向けた取組みを実施し、ユニバーサルサービスの推進を図っているといえるが、その内容は要求水準どおりであり、この評価とする。

#### II-(1)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会S) (●□)

既存の業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案等は、不断の努力を重ねており、コロナ禍の状況において、新規活動プログラムを開発したことは評価できるが、業務履行は、要求水準どおりとして、この評価とする。

II-(2)指定管理者S,所管課A(前回の評価委員会A)(●□)

利用者ニーズ、苦情などへの適切な対応策として、例示されている外部研修会へ参加するとともに、利用者ニーズ、苦情などの把握のため、アンケート調査を適切に実施しているが、業務履行は要求水準どおりであるとして、この評価とする。

II-(3)指定管理者S,所管課S(前回の評価委員会A)(●)

小学校向けの出張講座に対応し、体験を通じたプロモーション活動を推進している。上半期の実績は1校であったが、下半期も継続し、24校25回1,790人、93コマの要請に対応している点を評価した。

II-(4)指定管理者S,所管課A(前回の評価委員会S)(●□)

様々なツールを活用、工夫することで、少年自然の家の利用促進、利用者増に努め、情報提供の充実を図っているが、冬期に特化した活動プログラムの開発とプロモーション活動の推進について、さらなる充実を求めたいため、この評価とした。

II-(5)指定管理者S,所管課A(前回の評価委員会A)(●□)

有事の際の地域の被災者対応のため、全国各地の指定管理者と協定を締結したことについては着目すべき点であるが、きめ細やかなモニタリング、体育館・公園管理者との連携については、要求水準どおりとして、この評価とした。

III-(1)指定管理者S,所管課A(前回の評価委員会A)(●□)

過度な経費の削減により、サービスの低下を招かないよう、サービスとコストバランスを十分に踏まえた施設の運営という観点に基づく業務履行は、要求水準どおりであるため、この評価とする。

III-(3)指定管理者S,所管課S(前回の評価委員会A)(●)

管理費縮減について、具体的な方策を図っており、この評価とする。

IV-(1)指定管理者S,所管課A(前回の評価委員会A)(●□)

自己資本比率は従来どおりであるため、この評価とする。

IV-(4)指定管理者SS,所管課S(前回の評価委員会S)(●□)

職員が働きやすい環境を整備するための要件等の充足により、各種認定や表彰を受けたことは評価できるが、8つすべての項目において成果・効果が顕著とはいえないため、この評価とする。

IV-(5)指定管理者S,所管課S(前回の評価委員会A)(●□)

自然の家の運営に適した人材の育成を図るための方策については、工夫を重ねており、新規プログラムへの開発へとつながっているため、この評価とする。

V-(1)指定管理者S,所管課S(前回の評価委員会A)(●)

地元団体の育成や三輪地域の自然環境の積極的な発信については、これまでとは異なる取組みが見られ、積極的な地元への貢献が見られるため、この評価とした。

V-(4)指定管理者S,所管課A(前回の評価委員会S)(●□)

この項目における業務履行は、評価項目の要求水準どおりであるため、この評価とした。

## ●指定管理者評価委員会の意見

○子どもたちには、体験活動がとても大事だと思っているため、コロナ禍でも出来る活動を実施してほしい。